

# OPEN

# YOUR

# HAMAMATSU!

鈴木康広

ファスナーの船 — 浜名湖を開く

Yasuhiro Suzuki:

Ship of the Zipper — Unzip Hamana Lake



運航日 | 2011年8月6日(土) — 11月23日(水・祝)  
土、日、祝のみ運航 (但し8月15日は運航)

乗船場所 | 浜名湖マリーナ遊覧船乗り場

運行時間 | 10:00 / 11:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00

定員8名 大人1000円、小中学生500円

※中学生以下は保護者同伴、幼児は乗船できません

※雨天及び強風等の日は運休します

※乗船希望及び運行予定は下記まで問い合わせください

乗船予約 | 浜名湖マリーナ / TEL:053-487-0264

ファントムマリンコダマ / E-mail: mail@fantommarine.com

お問合せ | 浜名湖マリーナ / 浜松市西区舘山寺町 3289-3

TEL:053-487-0264

主催 | 浜松市美術館、静岡新聞社・静岡放送

協賛 | 浜名湖舘山寺温泉観光協会

協力 | 静岡文化芸術大学



浜松市制100周年・浜松市美術館開館40周年記念

浜松市文化振興財団はままつ文化サポート事業

瀬戸内国際芸術祭2010 出品作 鈴木康広「ファスナーの船」2010



# ファスナーの船 — 浜名湖を開く

2010年瀬戸内海を舞台に開催された瀬戸内国際芸術祭にて話題を呼んだ『ファスナーの船』が8月に浜名湖にやってきます。

『ファスナーの船』はこの秋、浜松市美術館で個展を開催する浜松市出身の現代アーティスト・鈴木康広によるアート作品です。

2002年、飛行機の窓から東京湾を見下ろした時に、船の航跡があたかもファスナーで海を開いていくかのように見えたことに着想を得て、実物の船での実現を目指し活動を続けてきました。

2004年、東京都の公園にてラジコン版『ファスナーの船』を走らせたところからプロジェクトは本格的にスタートします。

その後、2010年瀬戸内国際芸術祭に向け、漁船を改造し、船のオーナー、設計者など多くの人の協力によって、人を乗せた運航がついに実現しました。場所を浜松に移した今回のプロジェクトでは、浜名湖マリーナの協力によって、遊覧船乗り場から実際に乗船が可能です。

また、かんざんじロープウェイや周辺のホテルなど様々な視点からも、本作品の運航を眺められます。

浜松市政100周年を迎えるこの機会に、『ファスナーの船』に乗ることで浜名湖の魅力を共に“開き”、新たな浜松の魅力を発見してみませんか？

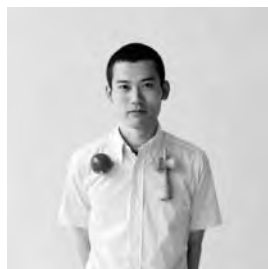
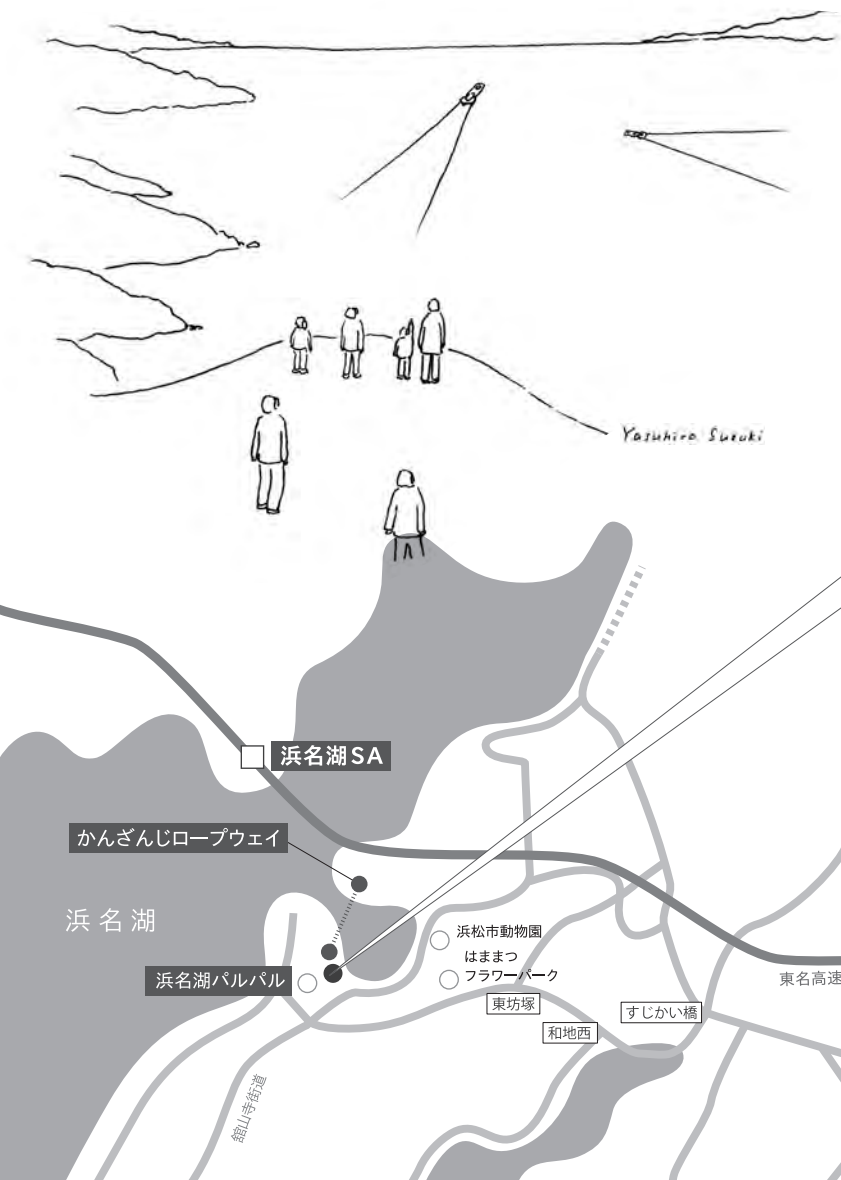
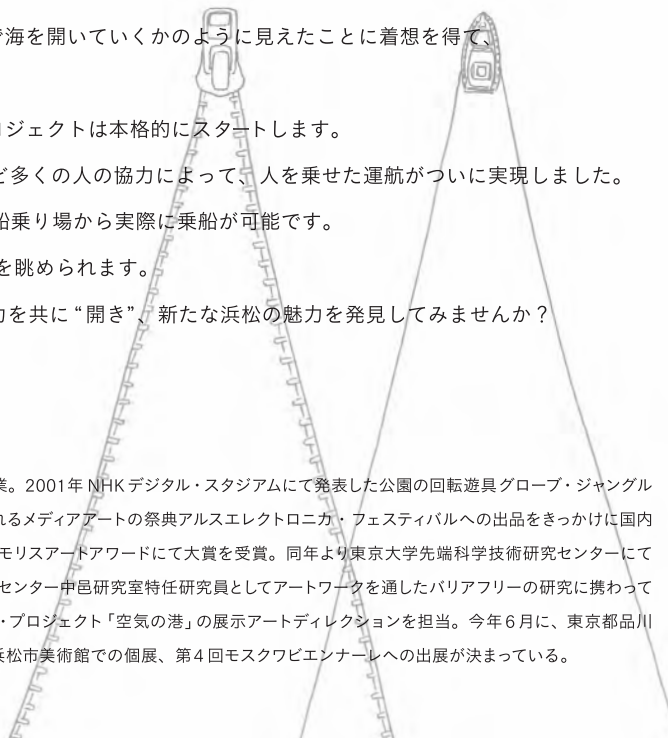


Photo: Masako Nakagawa

## 鈴木 康広 Yasuhiro Suzuki / アーティスト

1979年静岡県浜松市生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒業。2001年NHKデジタル・スタジアムにて発表した公園の回転遊具グロブ・ジャングルを利用した作品「遊具の透視法」が最優秀賞を受賞。世界的に知られるメディアアートの祭典アルスエレクトロニカ・フェスティバルへの出品をきっかけに国内外の多数の展覧会やアートフェスティバルに参加。2002年フィリップモリスアートアワードにて大賞を受賞。同年より東京大学先端科学技術研究センターにてメディアアーティスト岩井俊雄氏のアシスタントを務め、現在は同研究センター中邑研究室特任研究員としてアートワークを通じたバリアフリーの研究に携わっている。2009年羽田空港全域で開催されたデジタルパブリックアート・プロジェクト「空気の港」の展示アートディレクションを担当。今年6月に、東京都品川にある原美術館にパーマネント作品「募金箱『泉』」が完成。今秋、浜松市美術館での個展、第4回モスクワビエンナーレへの出展が決まっている。



## 「ファスナーの船」見どころスポット

- かんざんじロープウェイ
- 浜名湖パルパル付近のホテル
- 東名高速道路浜名湖サービスエリア
- 大草山オルゴールミュージアム展望台
- 浜名湖パルパル内観覧車

## アクセス

浜名湖マリーナ遊覧船乗り場

浜松市西区舘山寺町 2389-3

### 【お車で】

東名高速浜松西 IC より、舘山寺方面へ約 15 分

### 【電車及びバス】

浜松駅北口バスターミナル①番乗り場より  
「舘山寺線」約 40 分「浜名湖パルパル」下車

鈴木 康広展 / 浜松市美術館

2011年 10月 22日(土) — 11月 23日(水・祝)

その他浜松でのアートプロジェクトについての  
詳しい内容はホームページをご覧ください。

<http://www.habataki.net>

Design: Ayuko Kuwata